

すきま5分の引き出し（5・6年・教卓に置く1枚）

領域・形態・時間	話すこと [やり取り] 中心 全体・ペア 1～5分
ねらい	授業の終わりに余った時間を、準備ゼロ・説明10秒でうめる。新しいことばは教えず、その日の表現に出会う回数だけを増やす。

やり方 この1枚の引き方

- 1How much time do we have?
のこりが「5分・3分・1分」のどれかを決める
- 2Let's do this one.
その段から1つ選ぶ（迷ったら上から順でよい）
- 3（先生のことばを、そのまま言う）
説明は日本語で1文だけ。長く説明した時点で成立しない
- 4Last one!
終わりはチャイムでなく先生の合図（各行の「やめ方」）

のこり5分 座席をくずしてよい3本

やること	先生のことば（そのまま言う）	10秒の説明／やめ方
3ヒントクイズ	Three hints. Listen. What is it?	ヒントを3つ英語で言う→手を挙げて答える（答えは日本語でよい）。やめ方＝「Last one!」で最後の1問
チェーン	I like soccer. How about you?	前の人の文をくり返してから自分の1文を足す。やめ方＝列の端まで行ったら終わり
教室の4すみ	A, B, C, or D? Go to your corner!	選択肢を黒板に4つ→自分の答えのすみへ移動→1人だけ理由を1文。やめ方＝2問で切る

のこり3分 席を立たない3本

やること	先生のことば（そのまま言う）	10秒の説明／やめ方
ステレオゲーム	Ready? One, two, three!	3人が同時にちがうことばを言う→ほかの子が聞き取る。やめ方＝3回で終わり
ジェスチャーあて	What am I doing?	動作だけで表す→英語で当てる（今日の単元の動詞から）。やめ方＝「One more!」で最後
キーワードゲーム	The key word is "apple." Ready?	ペアの机の間に消しゴム1こ。キーワードで取る（道具が要るのはこの1本だけ）。やめ方＝3回

のこり1分 あいさつの直前でも入る3本

やること	先生のことば（そのまま言う）	10秒の説明／やめ方
さいごの1文	Turn to your partner. One sentence, please.	今日の文をとなりの人に1回だけ。言えたらハイタッチ。やめ方＝1往復
きょうの1語	Say one word you learned today. Go!	今日おぼえたことばを列で1人1語。同じことばが続いてもよい。やめ方＝1周
先生のうそ	I like natto. True or false?	先生が自分のことを1文→指で答える（1本＝True／2本＝False）。やめ方＝2文

ルール

すきま5分の3つのきまり ①**新しいことばを教えない**——すきまは「思い出す時間」。新出表現を入れると5分では終わりません ②**記録しない・評価しない**——ここで見た姿は評定の材料にしない、と子どもに先におく ③**終わりは先生の合図で**——チャイムに切られると「途中で終わった」感じだけが残ります

☆レベルアップ！ 同じ活動を1か月くり返してよい。すきま5分の値打ちは新しさではなく、**説明が0秒になるまで同じ型を回せること**。子どもが「先生、あれやろう」と言い出したら、その活動はもう完成しています。

先生へ（運用のコツ・中間指導）

- ・載せたのは、道具が要らないか机の上にあるもので回るものだけ。カードやワークシートが要るゲームはすきま時間に向きません（探しているうちに5分が終わる）——そちらはサイトの『ゲーム辞典』にまとめてあります
- ・迷ったら「のこり5分」の1本目を固定にしよう。毎回同じでよい——説明が要らなくなった活動だけが、本当のすきま教材になります
- ・声が出ない子には「見ているだけでもOK」を、個別にではなく最初に全体へ言う。すきま時間は評価しないので、参加の形は自由でかまいません。3ヒントクイズやチェーンで日本語の答えを認めるのも同じ理由です
- ・毎時間の帯5分（同じ表現に出会う回数を増やす活動）は別の紙＝「5分のはしご」です。こちらは余った時間の引き出して役割が違います。3・4年には文字を出さない版の1枚があります